



名 称 / 笹 流 ダ ム
所在地 / 函 館 市 陣 川 町
発注者 / 函 館 市 水 道 局
建設年 / 1 9 2 3 年 (完 成 年)

土木遺産の概要

笹流ダムは、函館市街地を貫流する2級河川亀田川水系亀田川の河口から上流約8kmの本流と支流笹流川との合流点付近の笹流川を堰き止め、大正12年に完成した水道専用のバットレスダム（扶壁式ダム）です。ダムの設計及び工事監督は、後年の東京市水道局長小野基樹です。水道専用ダムとして、北海道では奥沢ダムについて2番目、全国でも15番目ですが、当時、国内にはバットレスダムの例はなく、異例のものとして注目されました。第二次世界大戦後、ダムの風化を防止するため、昭和23年から24年にかけてモルタル吹き付けによる風化防止工事を施工しました。昭和40年代後半に入り、ダムの老朽化が目立ち始めてきたため堤体等の調査を行ない、昭和58・59年度の2か年で本格的な改修工事を実施いたしました。